



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,545	23.5	366	53.4	358	50.2	240	56.6
28年3月期第2四半期	2,871	—	238	—	238	—	153	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 228百万円 (121.0%) 28年3月期第2四半期 103百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	44.14	—
28年3月期第2四半期	28.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,162	3,766	61.1
28年3月期	5,690	3,663	64.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,766百万円 28年3月期 3,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

- ・ 配当予想の修正につきましては、本日(平成28年10月31日)公表いたしました「平成29年3月期(第46期)期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- ・ 平成29年3月期期末配当予想の内訳 記念配当 1円 普通配当 24円

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,776	9.7	577	2.5	582	3.0	367	1.1	67.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	51,241 株	28年3月期	51,241 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	5,448,759 株	28年3月期2Q	5,448,768 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による経済・金融政策によって、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、円高の進行や株式市場の低迷等によって、個人消費は回復まで至らない状況となりました。また、アジア新興国等における景気減速に加え、英国のEU離脱問題等の影響によって、株価や為替相場の不安定感が増すなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、FA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等にも使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件の受注を順調に確保いたしました。また、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置等、更に、有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開して順調に売上高を伸ばしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,545百万円と前年同四半期と比べ673百万円（23.5%）の増収、営業利益は、366百万円と前年同四半期と比べ127百万円（53.4%）の増益、経常利益は358百万円と前年同四半期と比べ119百万円（50.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、240百万円と前年同四半期と比べ86百万円（56.6%）の増益となりました。

なお、平成28年5月9日の「平成28年3月期決算短信（連結）」にて公表いたしましたとおり、当社グループは、2016（平成28）年度から2020（平成32）年度までの5カ年を期間とする中長期経営計画において、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍増する計画を掲げております。

この計画に基づき、当社グループでは、当連結会計年度を「倍増計画元年」と位置づけ、企業の投資や雇用促進に関する政府の諸施策の追加実施等が見込まれる環境下で、当社が株式を上場して以来、最大となる大型設備投資を計画いたしました。その第1弾として平成28年8月には海外子会社への増資を実施し、第2弾として新工場（名称：立山事業所）を建設することとし、平成28年8月に工場用地を取得するとともに、本年11月より建設工事を着工いたします。

この立山事業所は今後、IoT（Internet of Things/モノのインターネット）時代を見据えた“スピードファクトリー”と位置付け、業務及び生産の効率化、集約化を図り、特にFA装置等の更なる受注拡大を目指す拠点としての機能を担います。

また、近い将来には、クリーン装置（クリーンブースやクリーンベンチ等のクリーン関連機器）やロボット関連機器・装置等の分野にも対応できるよう設備を整え、装置事業の重要な拠点とする予定であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品は好調に推移し、特に「カクチャTM」を利用して選定する部材や部品及びこれらの組立完成品の引合いに対応する体制を強化したことにより、主要取引先からの受注が増加いたしました。

また継続的な受注があるFA装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件についても、順調な需要に支えられ、売上高は増加となりました。なお、これらの案件は当第3四半期以降も順調に売上が推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は2,030百万円（前年同四半期比149.0%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。

自動車部品製造企業に対する洗浄、検査、試験等の単体設備は、安定した受注の継続がありましたが、前年同期間のような一連のライン設備ではなかったことにより売上高としては減少いたしました。しかしながらFPD業界向けクリーンブース案件及び特殊仕様の構造物案件については、当初予想を上回る受注を獲得しております。

この結果、当部門の売上高は994百万円（前年同四半期比96.8%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係については、主要顧客の需要が低調であったため、やや低迷いたしました。機械設備関係の受注につきましては順調に推移し、前年同四半期と同等の売上高となりましたが、工具・ツール関係におきましては大きな伸びがあり、全体として前年同四半期を上回る売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は519百万円（前年同四半期比108.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ471百万円増加し、6,162百万円となりました。これは主に、現金及び預金が63百万円、受取手形及び売掛金が119百万円、仕掛品が245百万円、土地が79百万円、それぞれ増加した一方で、電子記録債権が37百万円減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ368百万円増加し、2,395百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が56百万円、電子記録債務が99百万円、短期借入金が200百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は前期末と比べ103百万円増加し、3,766百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上240百万円があった一方で、配当金の支払い125百万円があったことにより、利益剰余金が115百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ63百万円増加し、316百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の117百万円のキャッシュ・インに対し、104百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加358百万円や仕入債務の増加による資金の増加155百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少292百万円や法人税等の支払いによる資金の減少129百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の74百万円のキャッシュ・アウトに対し、108百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が99百万円、無形固定資産の取得による支出が5百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の108百万円のキャッシュ・アウトに対し、74百万円のキャッシュ・インとなりました。これは短期借入金の純増額が200百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が125百万円あったことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成28年7月25日付の「平成29年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境により、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,781	316,473
受取手形及び売掛金	1,793,240	1,912,666
電子記録債権	720,337	682,835
商品及び製品	150,466	177,706
仕掛品	311,781	557,077
原材料及び貯蔵品	315,916	333,519
その他	57,622	55,910
貸倒引当金	△252	△251
流動資産合計	3,601,894	4,035,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,863,409	1,867,569
減価償却累計額	△1,125,291	△1,147,501
建物及び構築物（純額）	738,118	720,068
土地	456,904	535,958
その他	728,634	728,796
減価償却累計額	△456,033	△481,369
その他（純額）	272,601	247,427
有形固定資産合計	1,467,624	1,503,454
無形固定資産		
その他	19,576	21,989
無形固定資産合計	19,576	21,989
投資その他の資産		
その他	603,473	602,613
貸倒引当金	△1,731	△1,731
投資その他の資産合計	601,742	600,882
固定資産合計	2,088,943	2,126,326
資産合計	5,690,837	6,162,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,667	919,741
電子記録債務	577,924	677,048
短期借入金	-	200,000
未払法人税等	136,587	136,097
賞与引当金	60,323	68,386
製品保証引当金	479	505
その他	139,678	142,581
流動負債合計	1,778,660	2,144,360
固定負債		
退職給付に係る負債	172,726	186,665
その他	76,423	64,806
固定負債合計	249,150	251,471
負債合計	2,027,810	2,395,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	145,608
利益剰余金	3,355,916	3,471,174
自己株式	△34,467	△34,467
株主資本合計	3,623,649	3,738,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,196	34,415
為替換算調整勘定	△2,818	△6,890
その他の包括利益累計額合計	39,377	27,525
非支配株主持分	-	491
純資産合計	3,663,026	3,766,432
負債純資産合計	5,690,837	6,162,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,871,985	3,545,481
売上原価	2,165,316	2,642,235
売上総利益	706,668	903,245
販売費及び一般管理費	467,928	537,015
営業利益	238,740	366,229
営業外収益		
仕入割引	2,119	2,922
受取保険料	-	700
その他	1,085	550
営業外収益合計	3,204	4,172
営業外費用		
為替差損	2,733	10,169
支払利息	-	135
手形売却損	57	113
電子記録債権売却損	167	254
その他	25	903
営業外費用合計	2,983	11,576
経常利益	238,962	358,826
税金等調整前四半期純利益	238,962	358,826
法人税、住民税及び事業税	86,141	124,553
法人税等調整額	△659	△6,286
法人税等合計	85,482	118,267
四半期純利益	153,479	240,558
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△143	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,623	240,558

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	153,479	240,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,765	△7,781
為替換算調整勘定	△3,379	△4,050
その他の包括利益合計	△50,145	△11,831
四半期包括利益	103,334	228,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,511	228,727
非支配株主に係る四半期包括利益	△177	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	238,962	358,826
減価償却費	50,055	62,827
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△283	8,062
製品保証引当金の増減額(△は減少)	492	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,734	13,938
受取利息及び受取配当金	△198	△263
支払利息及び手形売却損	246	503
売上債権の増減額(△は増加)	295,467	△82,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	△153,828	△292,348
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,657	155,198
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86,160	△12,885
為替差損益(△は益)	2,252	7,130
その他	△42,404	15,860
小計	204,605	234,014
利息及び配当金の受取額	198	166
利息の支払額	△246	△503
法人税等の支払額	△87,444	△129,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,112	104,410
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,558	△99,893
無形固定資産の取得による支出	△1,934	△5,834
投資有価証券の取得による支出	△2,471	△2,400
保険積立金の積立による支出	△11,508	-
その他	726	△813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,747	△108,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△28	-
配当金の支払額	△108,466	△125,147
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	200,000
非支配株主からの払込みによる収入	373	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,122	74,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,163	△6,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,920	63,692
現金及び現金同等物の期首残高	262,243	252,781
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,168	316,473

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,039,933	148.7
装置部門	994,946	96.8
合計	3,034,879	126.5

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	63,916	86.0
	機械設備	161,187	97.8
	工具・ツール・油脂類	210,058	120.9
合計		435,163	105.4

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,546,536	179.1	1,254,341	640.4
装置部門	1,057,867	160.2	391,456	105.7
商事部門	565,941	133.0	229,424	158.4
合計	4,170,345	166.3	1,875,222	263.8

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,030,868	149.0
装置部門	994,946	96.8
商事部門	519,666	108.1
合計	3,545,481	123.5

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期連結累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
キヤノン株式会社	1,104,080	31.1	161.6

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。